

# キャッチング・ザ・ステイック

10人が横一列に並び、向かって右から8人がステイック（2本）を持ち、左側の2人が待機。はじめ「セーノ、トン、トン、パッ」の掛け声に合わせ、ステイックを床に2回突き、「パッ」で右隣の人の2本のステイックを移動してキャッチ。全員が成功したら1カウントで、リズムに合わせて何回続けられるかを楽しみます。



【人 数】 1チーム10人（補欠は2名まで可）

【隊 形】 メンバーの内8人が1人2本ステイックを持ち、横一列に並ぶ。ステイックを持っているない2人は列の左端につく

【用 具】 CG推進本部公認ステイック16本

【カウント】 キャッチに成功して移動あるたびにカウント。連続して成功した回数を記録。

### ルール

- ・チームのリーダーが「せ～の」の掛け声を掛け、「トン、トン」とステイックを2回床に打ちつける。
- ・打ちつけた後、2本のステイックを8人同時に、パッと離し素早く右へ移動し、右隣の人のステイック2本をキャッチする。この時点からカウントを開始する。
- ・右端の人は、速やかに左端へ移動する。
- ・カウントは全員が右へ移動するたびに行う。
- ・1人でもステイックのどちらかを床に倒してしまうか、他のメンバーが意図的にステイックに触れ、支えた場合はその時点で終了となる。
- ・チャレンジは3回までとし、その中の最高記録をそのチームの記録とする。
- ・チャレンジごとのメンバーの並びかえは認められる。
- ・チャレンジ間の休憩タイムは30秒以内とする。

## ●アウト

- ・「トン、トン」の時、1人でも床からスティックを浮かしていない者がいた時。
- ・次の人気がキャッチしやすいようにスティックを押されたまま手渡した時。
- ・「せへの」の掛け声は最初の1回だけ。
- ・「トン、トン、パッ」のテンポが遅すぎた時。最低1分間に96拍（10秒間に4回以上）以上の速さで実施する。

## ■ 審判法 ■

### ●主 審

- ・開始時に「よへい、スタート」のコールを行う。
- ・アウトの判定を行う。失敗や失格行為などがあった時、笛などでアウトのコールを行い、競技を一端止める。
- ・1回目のキャッチが成功した時点からカウントを開始する。
- ・競技実施中は大きな声でカウントをし続ける。

### ●副 審

- ・テンポの遅い場合の失格の判定を行い主審に通告する。
- ・アウトの判定を補佐する。
- ・休憩タイムの時間を管理する。

### ●審判員の位置



★	主 審
☆	副 審
○	プレイヤー
・	スティック

## ■ 演出法 ■

### ①種目の実演



### ②基本技術の習得

- ・各チームに分かれる。
- ・「トントン」とスティックを突いた後に手を離し、スティックを立たせる（立たせている間何回手を叩けるか、など遊びながらスティックを離すコツをつかむ）。
 

※次の人気が取りやすくスティックを突くことがコツ。トントンの2回目を突く時はなるべくスティックをバウンドさせないようにする。

※キャッチのポイントは、スティックの頭より20cm程度下の部分をキャッチするように、また膝を若干曲げて「パッ」の掛け声で素早く右に移動する動作を身につける。
- ・みんなでスティックを持ちリズムを合わせる練習をする。
- ・「トントンパッ」等、楽しいかけ声をチームで相談する。